

令和元年11月19日

杉並区議会議長

井口 かづ子 様

道路交通対策特別委員会

委員長 吉田 あい

### 道路交通対策特別委員会活動経過報告書

道路交通対策特別委員会の活動経過について、下記のとおり報告します。

#### 記

1 令和元年9月26日

(1) 報告聴取

ア 外環道の進捗状況について

(ア) 大泉ジャンクション

本線シールドマシンは初期掘進中で、本格掘進に向けて後続台車を整備しながら進行中。本体との連結路の橋梁工と函渠の施工。また、氷川橋の撤去完了のため、舗装の復旧等を施工。

(イ) 中央ジャンクション

中央道と連絡する橋梁の下部工事及び地下連絡路工事を実施。

(ウ) 東名ジャンクション

本線シールドマシンは、南行が世田谷区成城3丁目付近、北行は同区成城4丁目付近を掘進中。また、掘削のための施工基地の整備、準備工事を実施。

(エ) 用地取得状況

全体で用地買収率は93%、区分地上権取得率は80%。埋蔵文化財調査対象地のうち、着工可能な面積割合は全体で87%（いずれも令和元年5月末時点）。

(オ) 白子川における漏気について

9月25日に国から河川内の水質調査と気体の成分調査結果が公表された。漏気箇所周辺の河川内の水質調査、気体の成分調査の測定値は共に基準値を満足しているとのこと。

イ 放射第5号線について

(ア) 9月19日のプレス発表について

都は放射第5号線開通後、交通量調査や開通に関するアンケートを実施。開通後の主な効果は以下のとおり。

- ・周辺の幹線道路や生活道路の交通量が減少。開通約1カ月後、7時から19時で約1万3千台の車両が通行。下本宿通りで約77%、甲州街道で約5%減少。
- ・区部と多摩地域のアクセス性が向上。甲州街道から分岐する下高井戸陸橋と東八道路の三鷹台団地南口交差点との平均所要時間が、区部方面へは約12分から10分（朝は約16分から11分）、多摩方面へは約12分から9分（夕方は約14分から9分）に短縮。
- ・道路利用者が自動車の混雑緩和、目的地への移動時間の短縮、自転車と歩行者の分離による安全性の向上などの整備効果を実感。

(イ) 今後の事業について

高井戸西区間で歩道舗装や電線類の地中化、久我山区間で歩道舗装や植栽工事を実施予定。

ウ エイトライナー促進協議会の活動について

(ア) 日時・会場

令和元年7月26日に、幹事会が北沢タウンホールにて開催。

(イ) 議決事項

平成30年度活動実績報告などの4議案を審議し、全て議案のとおり議決。

(ウ) 「平成30年度区部周辺部環状公共交通調査報告」

検討対象9区の内々交通流動では、平成29年度の調査と同様、区をまたぐ流動は相対的に少なく、近隣ゾーンへの移動が中心となる傾向があり、移動目的は私事が最も多く、代表交通手段は自転車、自動車、徒歩が多いことが確認された。また、検討対象9区における内外交通流動では、都心及び後背地それぞれで通勤目的の鉄道利用が多く、後背地との交通流動は検討対象9区に広く分布することが確認された。

エ 上井草駅周辺のまちづくりについて

(ア) 上井草駅周辺道路・交通施設整備計画について

区はこれまで上井草駅周辺の交通利便性や安全性の向上など、道路・交通面の課題解決に向けた検討を進め、オープンハウスや意見募集などにより住民からいただいた意見を踏まえ、本年7月に同計画を策定。前回の委員会で報告した案からの変更点は、駅前広場の配置を駅の北側に明記したこと。

(イ) 駅前広場等に関する都市計画素案について

「上井草駅周辺道路・交通施設整備計画」に基づき、駅前広場計画等に関する都市計画素案を作成し、説明会を実施。

(ウ) 今後のスケジュール (予定)

令和元年度 都市計画案の公告・縦覧及び説明会

令和2年度 都市計画決定

令和3年度以降 都市計画事業認可取得

2 令和元年10月24日

(1) 委員の派遣

東京外かく環状道路に関する調査のため、以下の場所に委員を派遣した。

東京外かく環状道路大泉ジャンクション工事現場 (練馬区)